

# 第 2336 例会 2014 年 7 月 10 日

### 本日のプログラム

点 鐘

ロータリーソング 我等の生業 四つのテスト

会長挨拶

出席・スマイル報告

委員会報告

幹事報告

第 48 期決算報告(資料配布)加知康之君 第 49 期予算報告(活動計画書 P.32)加知康之君

第 49 期年間行事発表(活動計画書 P.27)各務成喜君

委員長挨拶 会員増強 中島竹壽君

出席・スマイル 山口寛君

職業奉仕 松本昇君

社会奉仕 伊藤正雄君

Rアクト・青少年 各務和宏君

国際奉仕 佐藤正君

R 財団・米山 佐々木鉾二君

親睦活動 大岩順子君

R情報 各務成喜君

点 鐘



# クラブ運営と協力のお願い 幹事 篠田博文

多治見西ロータリークラブ第

49 期幹事をお引き受けすることになりました。 第 32 期幹事、第 37 期会長に続き三度目の大変貴重な経験であると思います。元気に楽しく一年間を奉仕の精神をもってクラブ運営に取り組んでいくつもりですので、皆様のご協力をお願い申し上げます。RI 会長 ゲイリーC. K ホァン氏のテーマ「ロータリーに輝きを」 ガバナー石垣智康氏のテーマ「耳を傾け、ロータリーに活力を」そして、山田会長テーマは「楽しもうロータリーを」です。幹事として最も重要の役割を果たすため努力いたしますので、どうぞご支援とご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

## 7月のお祝い例会のご案内

日 時:7月31日(木)

食事 11:45~ 点鐘 12:30

場 所:オースタット国際ホテル

# 理事会報告

- ① 行事予定確認
- ② 第49期 年間行事と予算の承認
- ③ 新会員について クラブ会員への発表を承諾
- ④ 協替金について

多治見少年少女合唱団 10,000 円 承認 多治見国際交流協会 10,000 円 承認 ジュニアオーケストラ 5,000 円 承認 多治見市制記念花火大会 10,000 円 承認 多治見市発明工夫展 5.000 円 承認 東濃新報社暑中広告依頼 10,000 円 承認

⑤ 苗栗扶輪社姉妹提携継続について

臨時総会を開催する

# 先週の記録

●出席報告

会員数 37 名 免除者 5 名 出席義務者 32 名

出席者	欠席者	出席率
32 名	2名	94.11%

### ●スマイル報告

#### 投函者 31 名 金額 52,000 円

一年間よろしくお願いします。 山田正史

この一年間会員の皆様が健康で出席出来るように心 からお願い申し上げます。

7月1日からエレクトがとれてガバナーに就任しま した。よろしくお願いします。 石垣智康

第49代会長山田さん頑張って下さい。地区大会のご 協力お願いします。

ガバナー事務局として、R の友委員として皆様にお 世話になります。 加藤真左子

Rの友に石垣ガバナーの紹介文を載せました。

一読下さい。 佐々木鉾二 新役員さんご苦労さん頑張って下さい。 飯田利夫

SAA 担当でお世話になります。 山下智久

山田会長、西クラブの正しい歴史を作って下さい。

佐藤八郎

49 期のスタートを祝して 谷口津富 山田丸の船出を祝して 山﨑正司 山田新会長ご苦労様です 伊藤正雄

本年もよろしくお願いします。 松浦毅 今井義郎



松本昇君 佐藤八郎君 山下智久君 加藤真左子君

## 松本昇地区大会実行委員長挨拶より

いよいよ7月から石垣ガバナーの誕生でございます。 昨年の臨時総会におきまして実行委員長に指名され ました。まだまだ先のことだと思っていましたがい よいよ始まってまいりました。現在は資料作りで忙 しくしていますが、幹事皆様のご協力で順調に進ん でいます。10月18日19日にむけて不安な気持ちも ありますが、皆様のご支援、ご協力を頂いて頑張っ ていきたいと思います。



# 石垣智康ガバナーの挨拶より

山田会長が地区大会に協力しよう という決意を固めて頂きとても 心強く思っています。

皆様のご支援もよろしくお願い

します。今年度は新しい課題を抱えております。 山田会長はよく認識されているので安心しています。 西クラブを誇れるクラブにしていただきたい。



#### 関谷泰久副会長挨拶より

副会長は2度目ですが、来年の 今頃は山田会長の席にいると思 うと緊張します。この一年間山 田さんのやられることを見せて

頂いて勉強していきたいと思います。



# 山下智久 SAA 長挨拶より

入会後何年かはずっと親睦委員 でしたが初めて委員をもらった のが SAA だったことを思い出し

ました。今回改めて SAA に挑戦していきたいと思 ます。よろしくお願いいたします。



会計 加知康之君 副幹事 大嶽政彦君



- 五大奉仕とは ①クラブ奉仕
  - ②職業奉仕
  - ③社会奉仕
  - ④国際奉仕
  - ⑤青少年奉仕

新世代が青少年奉仕となりました。指導力養成活動、社会奉 仕や国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理 解を深め育む。青少年ならびに若者によって好ましい変化が もたされることを認識する。